学校番号	1006

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

創作を中心に授業を展開します。書道Ⅰ，Ⅱで学んだことをさらに発展させた内容とし、書の伝統の理解と表現力の深化をはかります。制作過程において計画性を持ち、主体的に取り組む姿勢と探求心を育てます。創作学習を通して、創造力や個性の発揮を求め、様々な自己表現をすると同時に他の人の作品を鑑賞し、鑑識眼を養います。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して,生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに，感性を磨き，個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な 書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけようとしている。	・感性を磨き、創造性豊かな表現を工夫している。 ・確かな表現方法を習得し、それを生かしてより自由で個性的な表現を工夫している。	自己の感興や意図を実現するため構想を具現化し、主体的に個性的・創造的な表現をすることができる。	・鑑賞の活動を通して、書の伝統と文化について理解している。 ・書と生活や諸文化との関わりについて理解している。
評価方法	活動への参加状況や態度 ワークシート	創作活動への参加状況や態度 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	学習活動への参加状況や態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	篆刻	【創作】 姓名印を刻す	○	○	○		a:印の歴史について理解しようとしている。 b:篆刻の手順に従い、名前印の表現を工夫している。 c:篆刻の準備と手順について理解し、名前印を刻すことができる。	制作態度 ワークシート 作品
	漢字臨書作品制作	【臨書】 教科書の中から漢字の書の古典を1つ選定し、臨書作品を制作する		○	○	○	b: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:さまざまな書体や書風の違いを理解している。	制作態度 ワークシート 作品
二学期	漢字の書の創作	【創作】 自分で漢詩を選び、古典を元に創作する	○	○		○	a:漢字の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:表現形式に応じて、全体の構成を工夫している。 d:古典に基づく表現と個性的な表現について理解している。	制作態度 ワークシート 作品
	仮名臨書作品制作	【臨書】 教科書の中から仮名の書の古筆を1つ選定し、臨書作品を制作する		○	○	○	b: 各古筆の線質や字形、紙面構成の特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古筆の線質や字形、紙面構成の特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:仮名の書の美とその表現方法を理解している。	制作態度 ワークシート 作品

	仮名の書の創作	【創作】 百人一首の中から好きな歌を選定し、古典を元に創作する	○	○		○	a:仮名の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:表現形式に応じて、全体の構成を工夫している。 d:古筆に基づく表現と個性的な表現について理解している。	制作態度 ワークシート 作品
三学期	卒業制作	【創作】 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の中から選定し、卒業制作を仕上げる	○	○		○	a:自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。 d:用具・用材の用い方や構成の工夫などにより、さまざまな表現が可能であることを理解している。作品を鑑賞して感じたことを他者に伝えたり、他者の意見を元に自らの鑑賞を深めることができる。	制作態度 ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。